

## 知事コメント

令和2年12月10日(木)

去る10月26日に「沖縄コロナ警報」を発出させていただき、11月20日には、年末年始を安全に安心して過ごすための新型コロナ対策集中実施の第1弾として、注意喚起を出させていただきました。

しかし、この期間においても、感染状況は、減少の兆しが見られないところではあります。

本日現在、警戒レベル判断指標のうち最も重要な指標となる療養者数は385人、直近1週間の新規感染者は256人となっております。これは、7月末の感染拡大時の数字を上回っております。そして、入院治療が必要な中等症以上の患者数が100名前後に達し、病床占有率も70%を越えるなど、8月の頃と同等の状況を示しております。

また、コロナ病床以外の病床使用率も90%を超える状況が続いているなど、医療現場の状況は厳しさが増しており、現場では職員の皆さまも体力的にも精神的にもギリギリの状態が続いています。

さらに、最近離島における感染者の発生も目立っており、その搬送等のために関係機関では緊張感が高まっているところです。離島に行く際にも慎重な対応が必要となりつつあります。

明日、12月11日までを、新型コロナ対策の集中実施第1弾の期間として今まで注意喚起を行ってまいりましたが、今週末までの状況をさらに細かく分析し、今後の必要な対策について、来週初めに対策本部会議で審議・決定し、改めて県の方針をお示ししたいと考えております。

私たちは今、また、正念場に立たされています。

現状の厳しい医療体制に対処するためには、業界の皆さまには休業要請や営業時間の短縮、県民の皆さまには外出自粛などの強い措置を含めて対応を検討する必要に迫られていると考えております。

県民の皆さまには、まず、第1弾としてお示ししているように、飲酒を伴う会合・会食の場面には特に注意をお願いします。そのため、県としましても、市町村や関係業界と連携し、今週末に店舗等への巡回キャンペーンを実施することとしております。

やれる人がやれば良い、できる人がやれば良いということでは、このコロナウイルスの感染拡大を防ぐことは絶対に不可能です。誰もができるべき措置を、できることをしっかりとやっていただくこと、それを徹底することに尽きると思います。

感染拡大は、県民皆さまが協力していただき、集中して取り組むことによって初めて縮小させ、押さえ込むことができます。県民の皆さまのご理解・ご協力を、切にお願い申し上げます。